

議員氏名：一石 洋子

議案番号：議案第59～63号

案件名：令和7年度二宮町一般会計歳入歳出決算の認定について

令和7年度二宮町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

令和7年度二宮町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

令和7年度二宮町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

令和7年度二宮町下水道事業会計決算の認定について

討論内容：

私は、令和7年度一般会計、3特別会計、下水道事業会計に認定の立場で討論いたします。

特に財産経営課の経年の新庁舎等、重たい事業への尽力を評価いたします。さらに、消防課の消防庁舎大規模改修事業を評価します。実際にリニューアルされた庁舎での職員の皆様の清々とした表情は忘れられません。審査の中でも、実際の懸案事項のクリアだけでなく、私が気にかけていたメンタル、そしてコミュニケーションへの大きなプラスの効果があったと確信しました。職員の働く環境への投資が、私たちが思う以上の効果があることを心に刻まなければならないと思った次第です。

こども支援課のこどもの権利条例制定に向けたファシリテーター講座を受けた町民と子どもたちの有効な対話の場であるこども会議の二宮独自の進め方、さらに企画政策課の90周年事業の様々な町民の力を集めたプラットフォームとなった成果もすばらしかったです。

子育て・健康課のこども家庭センター事業、産後ケアと女性の健康づくり事業は、非常にニーズに応えた方向性を持っていることを評価し、さらなるニーズ、グレイゾーンの悩みに応え、子育てのウェルビーイングを高めるために、住民活動推進補助金を受けている専門家団体とも協働し、二宮独自の届くお母さんケアを推進していきたいと思います。

また、命の事業については、9年間に1回、子どもたちの学校生活9年間に1回ではなく、成長に応じた授業を3年ごとに子どもが受けられるようにしていただきたい。

教育指導課のこども家庭センター「にのはぐ」と連携したこどもまんなかネットワーク事業は、幼保、小中とにのはぐ等、関係機関職員が一堂に会し、子どもの特性理解や支援方法について研修を行っています。これはすばらしいので、内容をさらに精査し、特に作業療法的アプローチを町を挙げて研究していきたいと思います。

防災安全課は、線状降水帯などの未曾有の降雨量に対するリスク回避について、特に土砂災害や倒木予防などについては、都市整備や農政とも情報共有して、町民の感度も上げるべく対策いただきたいと思います。

なお、生涯学習課のラディアン大規模改修については、法定改修以外は一旦中止となりましたが、図書館が町民のリビングであることは、今や未来に向けた重層的な課題解決に資するトレンドであり、現状の資源を生かした案を専門家の町民がパブコメで示しているため、職員と地域資源とのコミュニケーションでコスパのよい創発的な二宮ならではの図書館の多世代のリビング化を推進いただきたい。

それから、ラディアン休館中の代替については、この議場や会議室という庁舎の最も環境のよい最高の景観を楽しめる3階の資源を使い倒す勢いで活用いただきたいと思います。

下水道事業会計につきましては、これまでと全く違う雨量の激甚化に対応する有効な流域治水のコミュニケーションを引き続き環境団体と続け、他課と連携して、さらにその事業を深める協働を進めていただきたいと思います。

介護保険特別会計、後期高齢者特別会計については妥当と判断いたします。健康保険特別会計も妥当と判断いたします。